

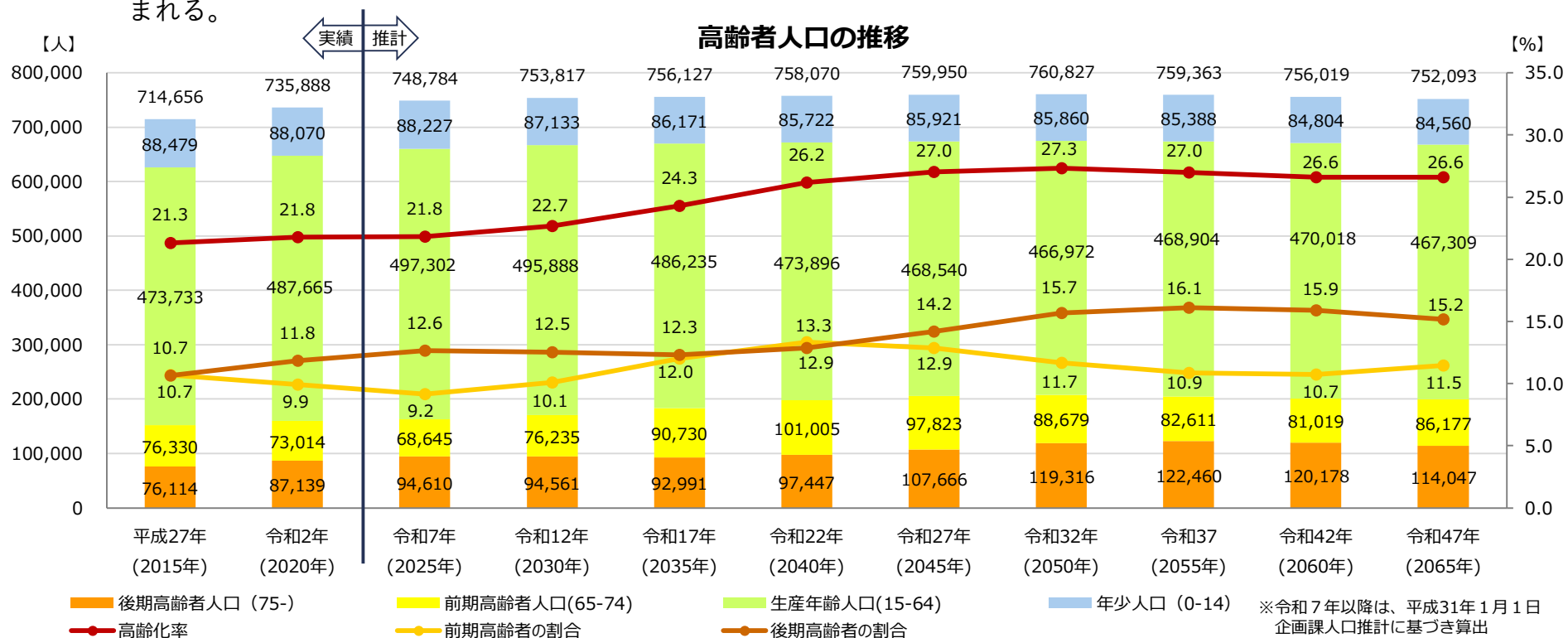
第 8 期 練馬区高齢者保健福祉計画・
介護保険事業計画

人口推計等資料
(暫定版)

令和 2 年 4 月 23 日
第 6 回 練馬区介護保険運営協議会

1 人口推計（試算）

- 練馬区の高齢者人口は、令和2年の約16万人から団塊の世代が全員75歳以上となる令和7年には約16万3千人に達する。前期高齢者が減少する一方で、後期高齢者は約8万7千人から約9万4千人へ大幅に増加する。団塊ジュニア世代が高齢者となる令和22年には、前期および後期高齢者いずれも増加し、約19万8千人に達すると見込まれる。

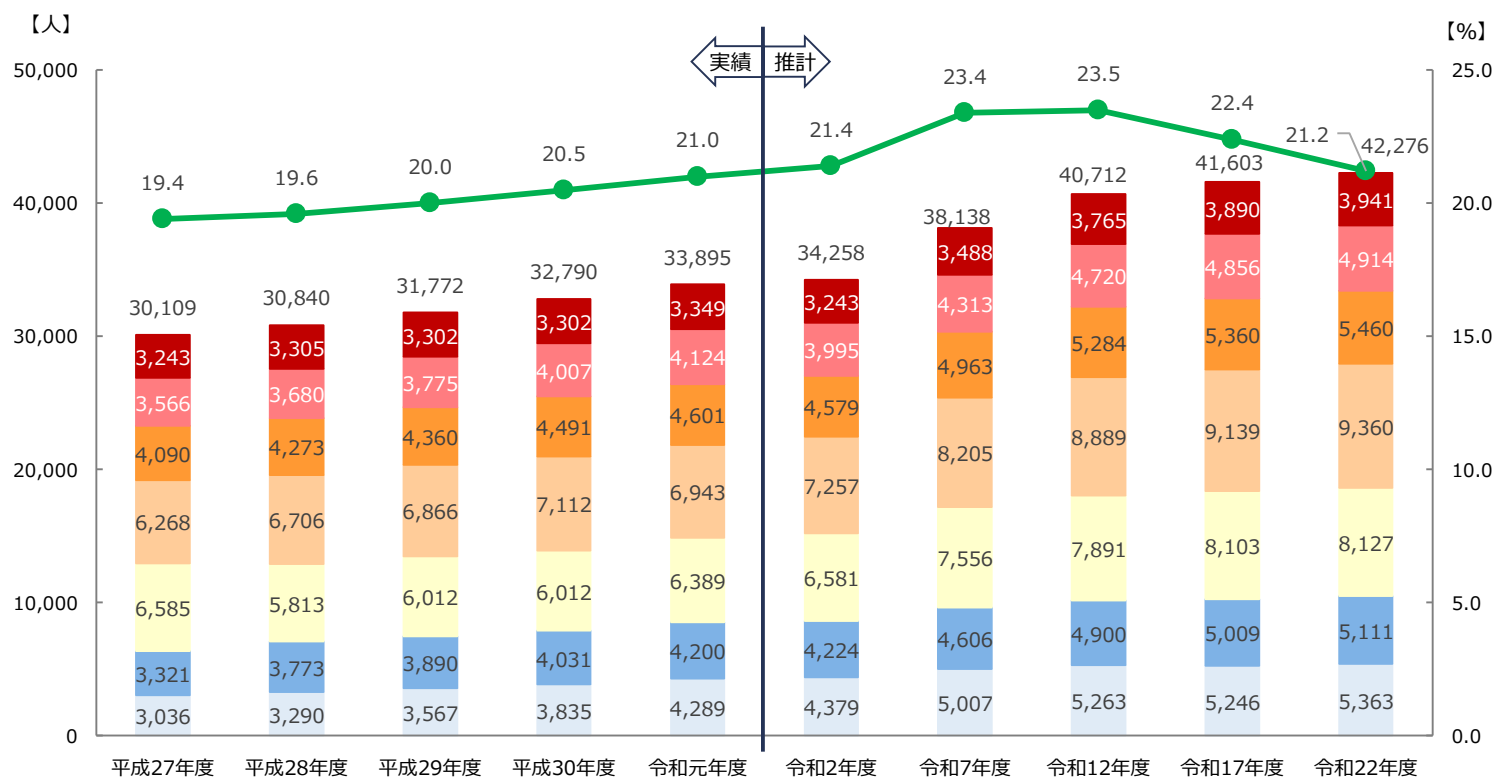


区分	平成27年 (2015年)	令和2年 (2020年)	令和7年 (2025年)	令和12年 (2030年)	令和17年 (2035年)	令和22年 (2040年)	令和27年 (2045年)	令和32年 (2050年)	令和37年 (2055年)	令和42年 (2060年)	令和47年 (2065年)
総人口	714,656	735,888	748,784	753,817	756,127	758,070	759,950	760,827	759,363	756,019	752,093
高齢者人口 (65歳以上)	152,444	160,153	163,255	170,796	183,721	198,452	205,489	207,995	205,071	201,197	200,224
	21.3%	21.8%	21.8%	22.7%	24.3%	26.2%	27.0%	27.3%	27.0%	26.6%	26.6%
後期高齢者 (75歳以上)	76,114	87,139	94,610	94,561	92,991	97,447	107,666	119,316	122,460	120,178	114,047
	10.7%	11.8%	12.6%	12.5%	12.3%	12.9%	14.2%	15.7%	16.1%	15.9%	15.2%

2 要介護認定者数と要介護認定率の推移

- 要介護認定者は令和元年度の約34,000人から令和7年度の約38,000人へ約4,000人増加し、要介護認定率は21.0%から23.4%へ、2.4ポイントの増加が見込まれる。令和22年度には要介護認定者は約42,000人に達するが、要介護認定率は前期高齢者の増加に伴い、21.2%になると見込まれる。

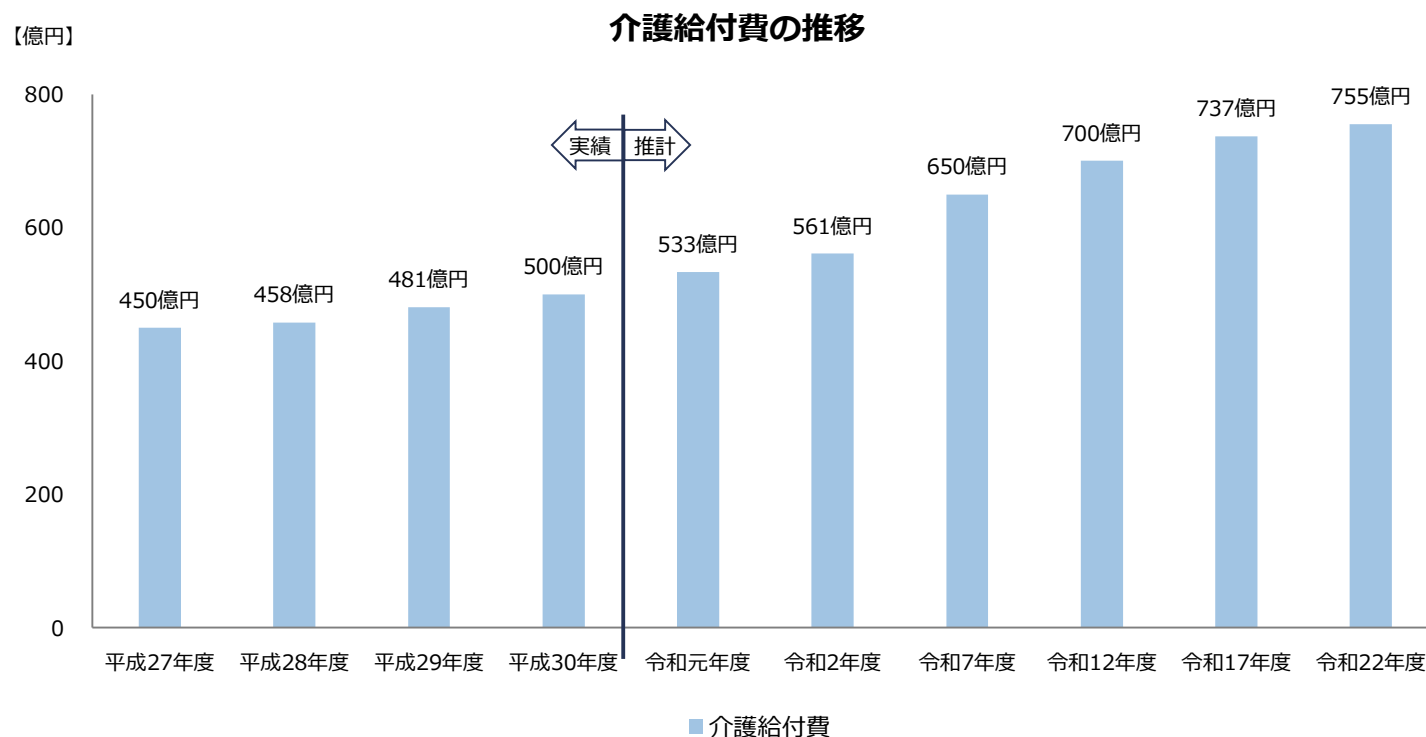
要介護認定者数と要介護認定率の推移



※ 令和2年度以降は第7期計画策定時の推計値

3 介護保険給付費の推移

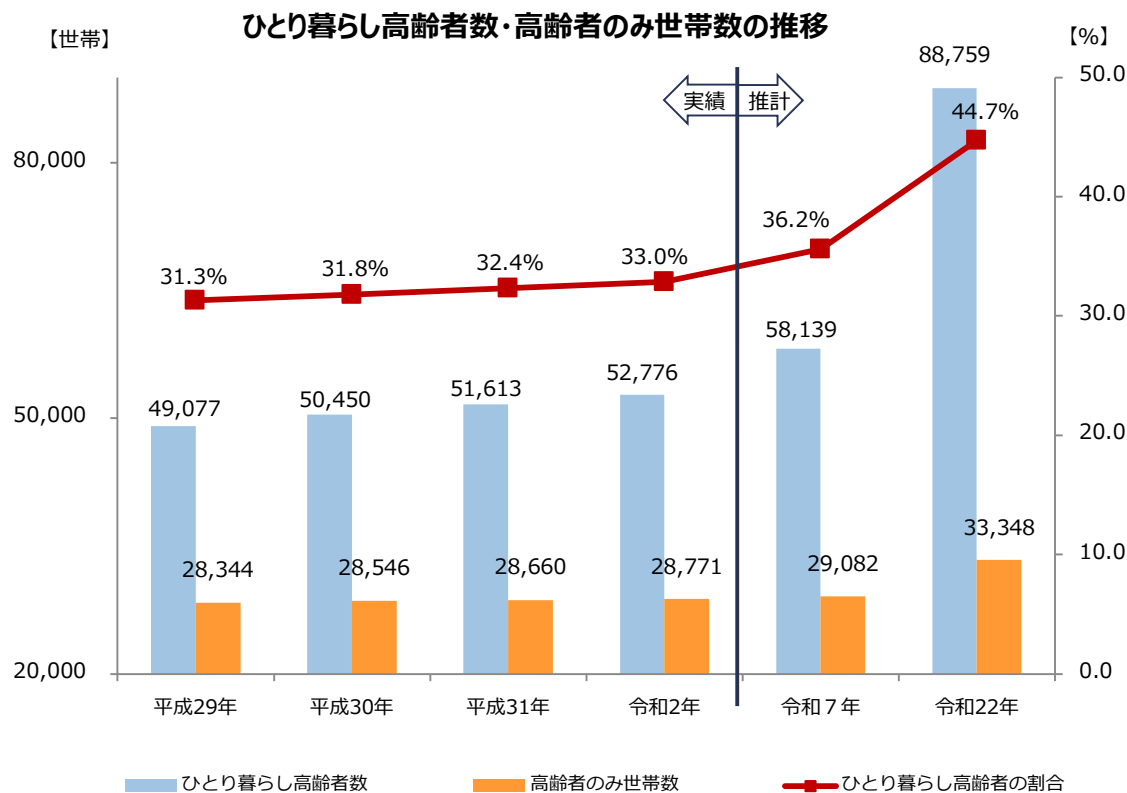
- 要介護認定者の増加に伴い、介護給付費は平成30年度の約500億円から、令和7年度には650億円に、令和22年度には755億円に増加すると見込まれる。



※ 令和元年度以降は第7期計画策定時の推計値

4 ひとり暮らし高齢者等の推移

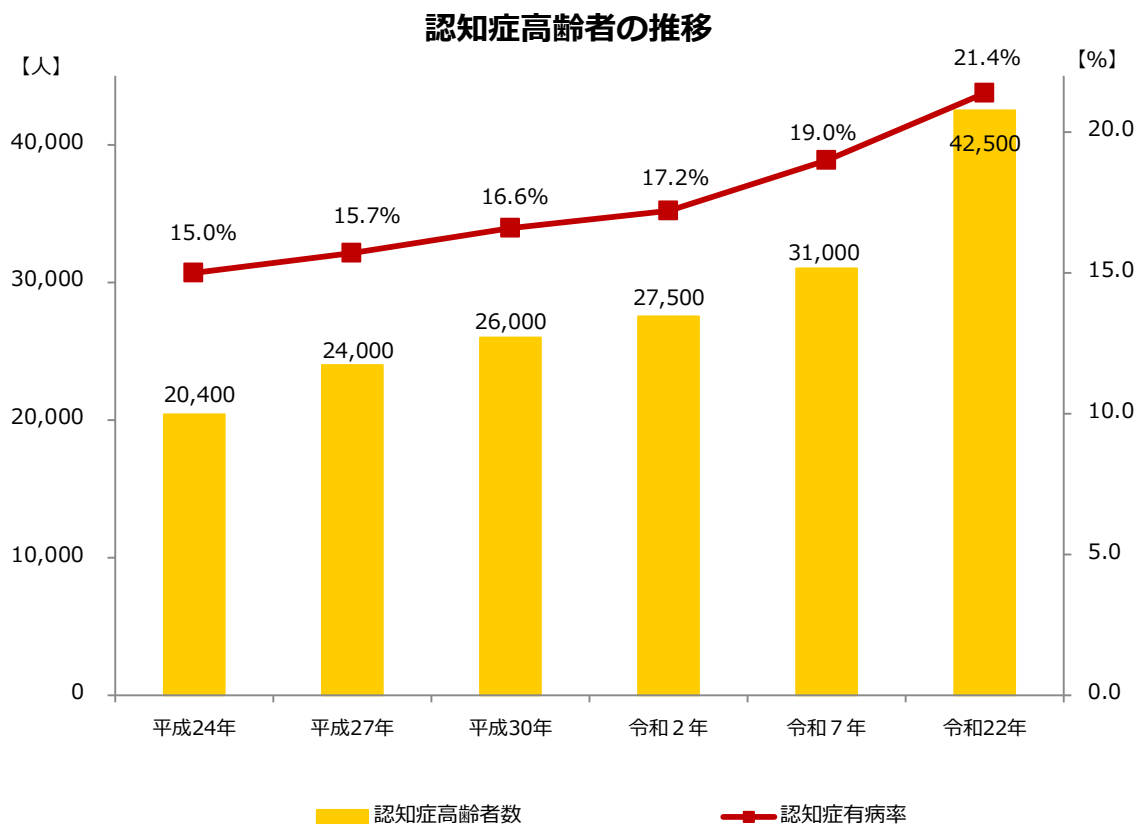
- ひとり暮らし高齢者は、令和2年の約53,000人から令和7年の約58,000人へ約5,000人増加し、高齢者のみ世帯は横ばいで推移すると見込まれる。令和22年にはひとり暮らし高齢者は約89,000人に、高齢者のみ世帯は約33,000世帯に達すると見込まれる。



※令和7年以降は、平成31年1月1日企画課人口推計に基づき算出

5 認知症高齢者の推移

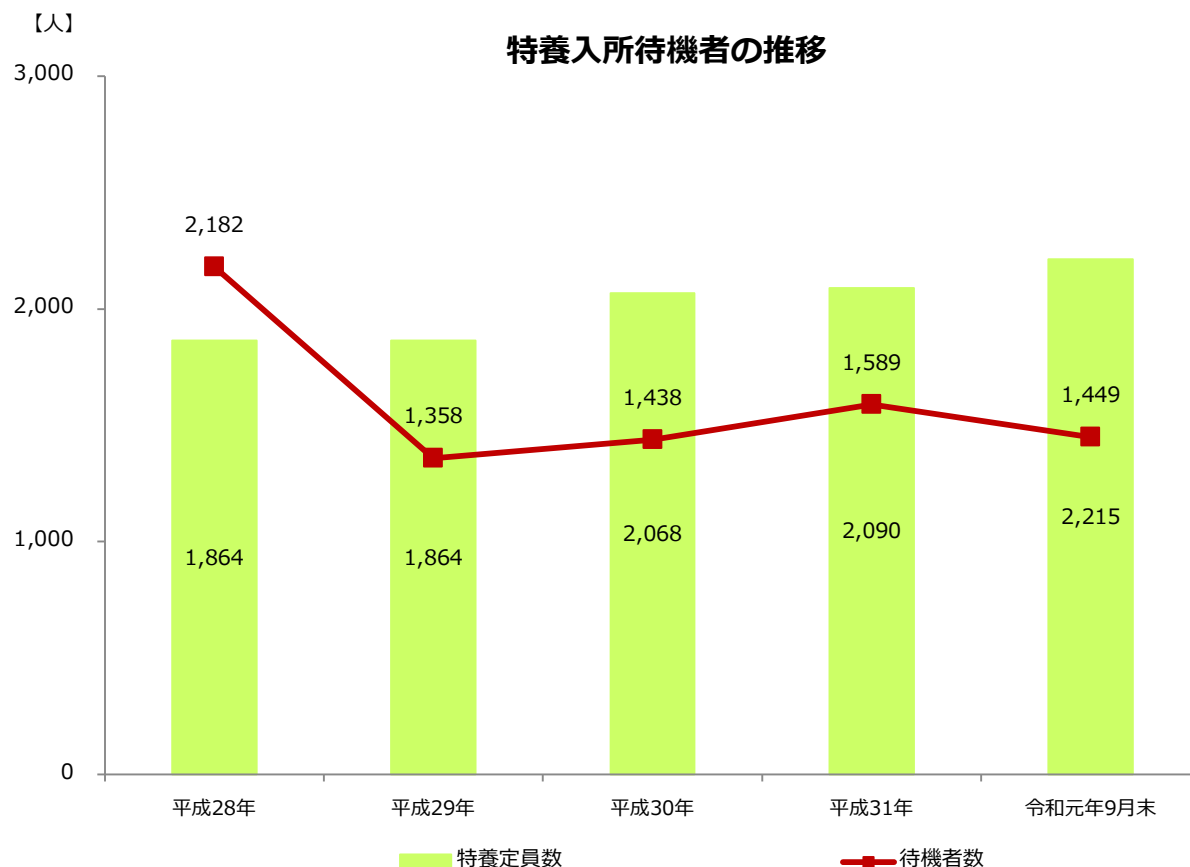
- 認知症高齢者は令和2年の27,500人から令和7年の31,000人へ3,500人増加し、認知症有病率は17.2%から19.0%へ1.8ポイントの増加が見込まれる。令和22年には認知症高齢者は42,500人に達し、認知症有病率は21.4%に達すると見込まれる。



※ 認知症の高齢者人口の将来推計に関する研究を基に推計

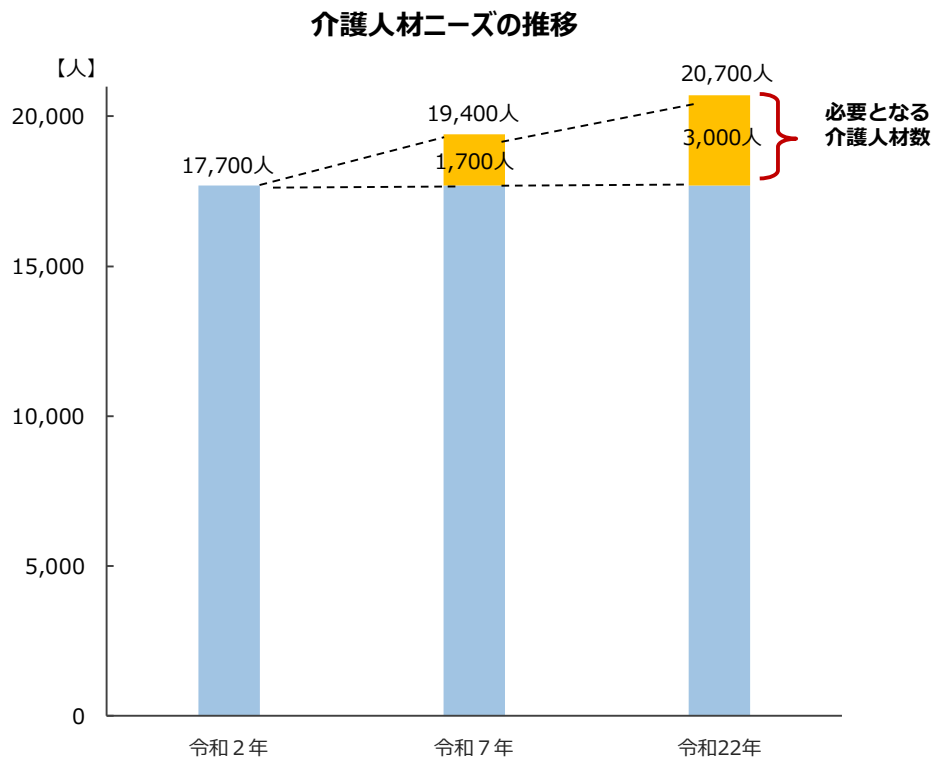
6 特別養護老人ホーム入所待機者の推移

- 特別養護老人ホームは、令和元年12月現在、31施設2,215人分が整備され、施設数は都内最多である。また、第7期計画の整備目標に対する残数153人分は概ね達成見込みとなっている。
- 特別養護老人ホームの入所待機者は平成28年度から約700人減少しているが、令和元年9月末時点で約1,450人いる。



7 介護人材ニーズの推移

- 区内の介護事業所の介護職員数は、令和2年1月時点で約17,700人。令和7年の介護サービス需要に対応するためには、新たに約1,700人の介護人材が必要となると見込まれる。令和22年には新たに約3,000人の確保が必要となると見込まれる。



※ 厚生労働省「介護人材需給 推計ワークシート」による簡易推計